（別添資料１）

事業所名　あいの放課後等デイサービス茨木　**支援プログラム（児童発達支援）**　作成日　令和6 年 11 月 1 日

法人（事業所）理念		ノーマライゼーションの実現「その人なりの生き方を」　多様な福祉サービスがその利用者の意思を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう支援します。			
支援方針		・障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、児童の身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行います。 ・遊びを通しての仲間関係づくり、生活習慣、社会性の獲得などの発達を支援し、社会のルールやマナーの習得を目指します。 ・児童と保護者の意見、人格を尊重し、児童、保護者の立場に立ったサービスの提供に努めます。 ・地域に密着し、市町村、障がい福祉サービス事業者等との密接な連携に努めます。			
営業時間		11 時 00 分から 13 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	来所時に健康状態のチェックと必要な対応を行います。児童の小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行います。 発達の段階や特性に合わせ、来所時の支度、食事、排泄の基本的な生活のリズムや自立を身に着けられるよう支援します。 集中しやすい必要な環境設定を行い、時間や空間を本人に分かり易く構造化します。			
	運動・感覚	気候の良い日は公園や散歩に行きます。 日々のレクレーションや個別の課題に、粗大や微細の運動、目と手の協応、空間認知等の要素を取り入れます。 感覚過敏や多動など、個別の特性に配慮します。			
	認知・行動	数量、形の大きさ、色の違い等の習得のために、興味を持って取り組めるよう、身近な素材を使いながら、活動の支援を行います。 活動の終了時間をタイマー等を使用して分かり易く伝えます。 こだわりや偏食等に配慮し、適切な支援を行います。			
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。 指さし、身振り、サイン、絵カード等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 児童の様子をきめ細かに観察し、行動などを言語化し伝えることで語彙の獲得を促します。			
	人間関係 社会性	身近な職員たちと親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 遊びを通して他者の行動を模倣することで、対人関係や社会性の芽生えを支援します。			
家族支援		定期的なモニタリング、日々の送迎時や連絡ノートの内容などから、各種相談や困りごとなどの情報を得て、解決に向け対応する。	移行支援	地域の公園あそびを通して、出会いに触れる機会を持ち経験を増やす。	
地域支援・地域連携		併用の児童発達支援センターと、利用者及び保護者の情報交換を行い、支援方法の統一に努める。	職員の質の向上	・新人研修　・法定研修　・各職員が受けた研修の周知 ・適切な支援提供のためのケース会議開催	
主な行事等		絵本読み聞かせ　季節の歌　製作　感触遊び　室内サーキット　外遊び(公園　散歩　夏の水遊び)　買い物体験　ペープサート 誕生日会　お正月遊び　お花見　夏祭り　ハロウィン関連行事　クリスマス会			